

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

次期社  
長人選

# 「カギは労組対策」

## 今年度末にも紹興酒の喜勢副社長に交代か

J R東日本の社長任期は通例6年です。深澤社長は就任6年目で今年度末にも交代と言われています。次期社長候補の筆頭が喜勢陽一、副社長です。その理由は「労働組合対策の功労者だから」です。

### 業務融合・職名廃止も「組合対策」

J R東日本の労務政策が決定的に変わったのは、18年2月の東労組に対する「労使共同宣言失効」の通告からです。会社は管理職を中心にした露骨な労組脱退工作を行い、社友会に労働者を加入させて、徹底して労働組合を解体しようとしてきました。

この過程で、喜勢副社長は経営陣に東労組との決別を強く進言し、労使共同宣言失効への流れを作ったとされています。業務融合化や職名廃止を主導したのも、喜勢副社長です。その目的も「組合運動につながることを防ぐため」だったと語られています。

### 「紹興酒事件」でも労組対策優先

喜勢副社長は労務対策で出世してきた人物です。一方、コ



次期社長候補の筆頭といわれる喜勢陽一副社長。22年の喜勢副社長主催の懇親会では社員が救急搬送される事態に

ロナ禍中の22年6月には自身が主催の懇親会で紹興酒を30本以上あげ、救急車2台が出動し、参加した社員が救急搬送される事態となりました。

喜勢副社長は「乾杯とは杯を乾かすこと」と発言し、参加した社員は「勧められるがまま飲まざるを得なかった」と報じられました。しかし、J R東日本は何と「飲酒の強要はなかった」と発表しました。会社はこうした問題を起こした人物をかばってまで、「労働組合対策」を優先しています。

### 職場に闘う労働組合を

会社がここまで労働組合対策にこだわるのは、逆に言えば、そこに会社の攻撃を打ち破り現状を変える力があるからです。

そごう・西武労組のストライキは大きな支持と注目を集めました。世界中で大規模なストが相次ぎ、米財務省は「労組が賃金を10%押し上げる」との見通しを示しています。日々、列車を動かし、鉄道の安全を守っているのは現場労働者です。一人ひとりの団結の力にこそ、会社の攻撃を阻止する力があります。職場に闘う労働組合を取り戻そう。